

姫路城

2024年

11月16日 土曜日

12月24日 日曜日

2025年

2月15日 土曜日

3月2日 日曜日

特別公開

姫路城の東側に位置する地形と城郭の構造を
利用した高度な防御力をもつ搦手周辺を公開

「どの四門」から入城及び再入城はできません。特別公開エリアは、原則一方通行となり、「どの四門」からご退城いただきますので、西の丸及びお菊井戸の見学は先にお済ませください。

- 料金** 大人・小人(小中高生)ともに200円
※別途入城料が必要 ※入城料:大人1,000円・小人300円
団体料金(30名以上)大人800円・小人240円
- 受付時間** 9:00~16:30(最終入城16:00 閉城17:00)
- 受付場所** 「井郭櫓(いのくるわやぐら)」



どの櫓(のくわ)の二門



どの櫓(のくわ)内部



どの二門



枅形まがた



どの四門



長壁神社遺跡(ながべにんじや)

特別公開みどころ



との一門 姫路城に残る櫓門で白漆喰を塗っていない唯一の門。「昭和の大修理工事」までは白漆喰が塗ってあったが、解体してみると当初は塗っていなかったことが判明したため、元のとおり素木造り(しらきづくり)に戻された。秀吉が自身の権威を示すため、姫路城の北にあった置塩城(おじおじょう)から移築したものであるとの説もある。



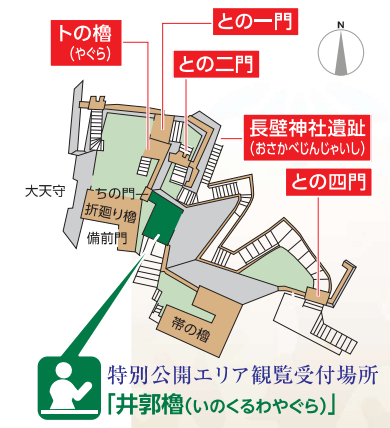
との四門 姫路城の東側に位置する。かつては門の内側に穴蔵(あなぐら)が設けられ、火薬が収蔵されていた。

トの櫓(やぐら) 東側と南側に開いている2つの格子窓から、との二門に向けて射撃する必要があるため、窓の下に床板を張って高くし、有効な射撃ができるようにしているとみられる。

枅形虎口(ますがたこぐち) 搦手道(からめてみち)には、との一門・との二門で構成された枅形(ますがた)が残っている。姫路城では枅形(ますがた)の2つの城門と土塀が残っている唯一の例。

長壁神社遺趾(おさかべじんじやいし) との二門東側にある北向き石段の上の平場には、姫山の地主神長壁神社が祀られていた。現在は「長壁神社遺趾(おさかべじんじやいし)」の石碑がある。

公開エリア周辺地図



姫路城入城記念に「姫路城御城印」 料金: 300円 販売所: 姫路城売店(出改札横)

現在販売中の御城印デザインは、姫路城世界遺産登録30周年記念として、現在の姫路城の基礎を築き、姫路市民にもなじみ深いと思われる池田家の揚羽蝶の家紋をモチーフとして制作されました。デザインの一部分は特殊印刷を施し、光の当たり具合により模様浮かび上がる特別仕様となっています。姫路城に来城された際には是非記念にご購入ください。

【ご利用案内】 観覧料 大人・小人200円 ※別途下記姫路城入城料が必要です

区分	個人料金(30人未満)	団体料金(30人以上)	備考	
入城料	大人	1,000円	800円	18歳以上の方
	小人	300円	240円	小学生・中学生・高校生

※小学校就学前は、無料です ※姫路城・好古園共通券 大人/1,050円 小人/360円

開城時間 9:00~17:00 (最終入城16:00) ※特別公開の最終受付16:30

姫路城便覧

姫路城の情報をリアルタイムにお届けしています。姫路城への旅行計画にどうぞご利用ください。



【お問い合わせ】 姫路城管理事務所 TEL.079-285-1146

姫路観光コンベンションビューロー 公式 LINE 姫路のおすすめ観光情報をお届けします!

